

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	廃棄物減量等推進員事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター				
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	廃棄物減量等推進員	意図	「一般廃棄物処理基本計画」に定められてた市民の役割を理解し、ごみ減量・資源化が市民活動として展開されるよう行動してもらおう。
事業内容	ごみ減量・資源化のために市民・事業者・自治会・市の役割と目標値を定めた「流山市一般廃棄物処理基本計画」を策定しているが、同計画に基づき、ごみ減量・資源化を推進し資源循環型社会を実現するために、各自治会に廃棄物減量等推進員を委嘱し、啓発活動を行ってもらうとともに、意見・要望等の収集を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成9年2月に、本市廃棄物対策審議会からの「今後の廃棄物の減量・資源化対策に関する提言」を受け、平成11年4月に、市民・事業者・行政の3者が一体となって、ごみ減量・資源化を啓発する「ごみ減量・資源化行動計画」を策定し、より徹底した行動を展開するため、廃棄物減量等推進員の委嘱を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 廃棄物減量等推進員活動報告書の提出枚数	38	29	32	枚	↑↑↑	
	② 廃棄物減量等推進員会議等の開催数	2	2	2	回	→→	
	③ 廃棄物減量等推進員委嘱人数	176	181	180	人	→→	
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,505,064	2,083,753	2,039,448	会議開催日 ・平成29年5月13日 施設見学会 ・平成29年8月23日 ケロクル通信発行 ・平成29年 6月（前期） 10月（後期）			
事業費（b）（円）	246,064	24,253	25,848				
うち一般財源	246,064	24,253	25,848				
職員給与費（c）（円）	2,259,000	2,059,500	2,013,600				
人役・職員（人）	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用（人）							
人役・臨職（人）							
人役・嘱託（人）							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度（H29）の改善計画	廃棄物減量等推進員と協力しながら地域と一体となり、廃棄物の分別などの説明会やごみ出前講座を引き続き展開していく。	③取組の課題	廃棄物減量等推進員との連携強化により、ごみの減量・資源化を推進する。
②今年度（H29）に実施した取組	廃棄物減量等推進員会議の開催及び推進員を対象にクリーンセンター見学会を実施。その他、ケロクル通信を発行した。	④今後（H30以降）の改善計画	ごみ出前講座を開催するなど、ごみ減量のための地域活動を展開していく。